



TCA

—NEWS—

Vol.43 新春号

発行
富山市民国際交流協会
広報委員会

〒930-0002 富山市新富町一丁目2-3
CiCビル3F 富山市国際交流センター内
TEL (076)444-0642 FAX (076)444-0643
発行責任者 広報委員会委員長 岡田昌代



商業ビル CiC



富山市国際交流センター 事務室



富山市国際交流センター 姉妹友好都市展示コーナー



CiCビルグランドリニューアル記念式



とやま名物 チンドン

富山市民国際交流協会移転

富山市民国際交流協会は、2003年11月30日に
富山駅前 CiCビル3階の富山市国際交流センター
に移転しました。

あけまして おめでとうございます 富山市民国際交流協会

富山市民国際交流協会が 富山駅前のC i Cビル3階に移転しました

富山市民国際交流協会CiCオープニングイベント

国際文化祭

交流ひろば

民族衣装ファッションショー
民族音楽・舞踊

カザフ民族舞踊
二胡演奏・サルサダンス
京劇他



世界のお茶コーナー

中国茶・韓国茶の入れ方実演
インド・チャイの作り方他



委員会コーナー

パネル展示
委員会の活動紹介
日本文化体験
ボランティアをはじめたい方のためのコーナー



外国語ミニレッスン

モンゴル語（モンゴル）



講師 ビャムバジャルガル モロムジャムツ氏
パトブレブ ジャムバルドルジ氏

英語であそぼう!!



講師 ジェニファー ティーター氏
ブライアン アーウィン氏

ヒンディー語（インド）



講師 プチャラバリ スリニワスル レッデイ氏

各国紹介コーナー

（展示&おしゃべり）

韓国 中国 チェコ エジプト コンゴ民主共和国
タイ 米国 カナダ アルゼンチン サウジアラビア



移転記念講座

◎姉妹友好都市紹介講座

富山市の姉妹都市であるモジ・ダス・クルーゼス市は、ブラジルの南に位置し、人口約36万人です。

JICA日系社会シニアボランティアとして、2001年7月から2003年7月まで、モジ・ダス・クルーゼス市で活動されていた米田哲雄さんをお迎えして、モジ・ダス・クルーゼス市の町の様子、人々の生活、日系人の日本語教育などについて、お話をさせていただきました。

「私が見たモジ・ダス・クルーゼス市」

講師 米田 哲雄氏

(前・国際協力機構JICA)
日本語シニア・ボランティア

富山市は、3つの姉妹友好都市を持っている。24年前に始まったモジ市、22年前の中国秦皇島市、そして、14年前の米国ダーラム市である。いろんな立場で私はすべてに関わってきた。ブラジルは一番遠い所であるからなじみが薄いようであるが、その一方、富山県からも1,900人、市からは200人強の移民が渡った関係から親戚縁者も多い。今は日系ブラジル人として550人が富山市に住む。中には10年を越す人もいるので、私たちの隣人である。

モジ市には15世帯の富山県ゆかりの方々に住み、うち富山市関係者は5世帯である。私は2年間のモジ在住中に5家族と直接会い、親しくさせていただいた。

富山市にはこれまで7名のモジ市中学生が来訪している。彼らはすでに成人し、社会の中核を担っている。中にはモジ市役所で姉妹都市担当をしている者もいる。かねて親交のあった日本語学校の先生が全員を集め、私の送別会をしてくれた。感謝、感謝である。



12月1日
当センター

◎英語スピーチと討論の会

移転記念特別例会

テーマ 「独立国家・富山」の夢～集権と分権

スピーカー 木村 幸信氏（富山国際大学教授）

今回は、協会事務所の移転を記念して、例月とは異なり、一般の市民も気軽に参加出来るように、6日（土）の日中に、特別例会を開催する事にした。また、スピーチと質疑応



12月6日
当センター

答をパート1とパート2に分け、パート1ではいつもと同じく英語のみで進行し、パート2では日本語の使用も可能として、討議の質を高める試みも行ってみた。

富山国際大学教授の木村幸信先生の演題は“「独立国家・富山」の夢～集権と分権”である。アメリカの国や州の首都は必ずしも人口最大都市に集中していないこと、産業の中心都市が必ずしも政治の中心都市とは一致していないことなどを例としてあげながら、なぜ日本では立法、司法、行政のすべてが東京に集中しているのだろうか。なぜ企業の本社も東京に集中し、人口も東京一極集中となるのだろうかという、問題提起をされた。

その上で、国からの援助に頼らなければ、富山の経済は成り立たないという意見もあるが、これは、税収入が国に集中するような課税の仕組みに問題がある。付加価値の源泉は、勤勉な地方の労働力にこそ存在するのだということを、述べられた。

さらに、富山には良質の米と水、そして電力や観光資源もある。これらも経済力に換算して、都道府県の単位で見れば、富山は決して貧しい県ではなく、むしろ大変豊かな県といえる。世界的に見れば、面積的にも人口的にも、富山県より小さな国が沢山ある。例えばルクセンブルグは人口43万人だが、大変豊かな国である。富山国は決して成り立たない国ではない、というのが先生の夢である。

このような提言を受けて、その後、全員で討議したが、参加者たちからかつて滞在された諸外国の事情と対比した意見が出されたり、国民性と東京一極集中との関係の議論、さらには富山県の産業構造から説き起こし、例えば米の県外出荷を輸出としてとらえてみればどうかとか、或いは自然の豊かな県は酸素をたくさん生み出しているのだから、酸素税を都市圏の都府県から徴収してはどうかなど、ユニークな意見もどんどん出てきて、大変面白かつ有意義な会であった。

はじめての場所での開催であり、時間帯でもあったので、参加者の数を心配していたが、結局それは杞憂であったことを喜んでいる。（国際教養委員会 高田紀一郎）

国際交流フェスティバル in Toyama INTERNATIONAL EXCHANGE FESTIVAL 2003

富山市民プラザ・大手モール

10月11日(土)～12日(日)



主催 国際交流フェスティバル2003実行委員会
共催 独立行政法人国際協力機構北陸支部/財とやま国際センター/富山市民国際交流協会
後援 富山県/富山市
特別参加 富山外国語専門学校
ブース出展名 AJA FOUNDATION/婦翔会富山支部/ふおるくろーれ/総合案内/富山市民国際交流協会/とやま国際センター/日本語教師会ゆうゆう/国際ソロプチミスト富山(1日目)/富山ベンチャークラブ(2日目)/ウィメンズ・ウィング・トヤマ/富山県日韓親善協会/富山大学韓国留学生会/二胡の会/富山・中国ネットワーク/言語交流研究所ヒップファミリークラブ/富山外国語専門学校/富山日豪ニュージランド協会/Unified Families Friendship Association/青年海外協力隊富山県OB会/JICA北陸/富山県青年国際交流機構/富山大学マレーシア留学生協会

小川弘実行委員長の開会宣言で「国際交流フェスティバル2003」が始まりました。フェスティバルは、国際交流・国際協力団体等の参加と関係者やボランティアの協力により、各種の催事とおして市民と外国人との交流を行います。また、関係団体の国際交流や協力に関する活動の啓発及び情報等を広く発信し、多文化へのふれあいを通じて、地域国際化に対する理解を高め交流を深めることを目的に行われました。

今年は、富山市民市立市民学園 富山外国語専門学校の特別参加で、学生らによる「英語劇」や「お化け屋敷」など、学園祭の楽しさと若いエネルギーの活躍に新鮮さが感じられました。

野外ステージやブース、室内の各会場はそれぞれ大変賑わって、楽しく交流の輪をひろげ親善を深めました。

「お化け屋敷」に初挑戦

富山外国語専門学校 田方 悠介さん

私たちの学校は、国際交流フェスティバルに初めて参加しました。たくさんの人たちに楽しんでもらって、自分たちにも良い思い出となるようなアトラクション「お化け屋敷」を作ろうというプロダクションをスタートしました。

「お化け屋敷」は、世界各国のお化けでユニークなものにしようと、衣装や特殊効果をどのようにするかなどと制作活動はとても充実した楽しいものでした。大変だったのは、コース作りでした。学校中の教室から机などを、先生も生徒も総がかりで7階の会場まで運び、コースに沿ってそれらを並べ、さらに、黒いシートを貼り付けていくという大変な作業でした。

全てが仕上がり、皆でリハーサルをした時の感動はひとしおでした。皆でポスターを作製したり、総曲輪通りでビラ配りをしたりと精一杯の努力をして、そしてお客様の安全第一に一人ひとりが責任を持って運営することに決めました。

いよいよオープン! 「お化け屋敷」は、期待を上回るお客様の行列、絶叫と恐怖のリアクション、出口では興奮した面持ちで「楽しかった。怖かった。」などと云う言葉に私たちは嬉しさとほっと一安心をいたしました。大勢の客に、私たちは休憩も取れない程でした。外国の人にも楽しんでもらえて光栄でした。大変ハードな2日間でしたが、大成功であったように思います。

私たちにとってこの初挑戦は、学校中の皆が学年を問わず仲間を助け合い協力し合い、一つのことを成功させるというとても良い体験となりました。

生徒達、それぞれが有意義で楽しい思い出を作ることができ、一生懸命頑張って良かったと心から思いました。

今回に満足せず、来年もっとレベルアップして、富山外国語専門学校は挑戦を続けていきます。



10/11(土)

・開会式 ・極楽拳・京劇(とやま日中文化交流会) ・交流チャット(エジプト・カナダ) ・踊ってみよう世界の踊り(富山県フォークダンス連盟) ・書道体験 ・折紙 ・バザー ・民族衣装&和服試着 ・パネル展示(JICA北陸)(富山ユネスコ協会)(富山外国語専門学校)(ポスターの街・とやま) ・英語表現コンテスト(日本国際連合協会富山県本部) ・日本語の教え方(日本語教師会ゆうゆう) ・日本語レッスン(日本語教師会ゆうゆう) ・ドラマ アンパンマン/ルパン3世 PeaceForce/U.I.(富山外国語専門学校) ・国際協力富山県民シンポジウム&映画上映会「神の子たち」(財とやま国際センター) ・世界の国からこんにちは ・寸劇-日本人七不思議-(富山市民国際交流協会日本語講座) ・二胡の演奏(二胡の会) ・中国の歌(富山中国ネットワーク) ・手品・フォーク・ハーモニカ演奏(富山Whyランゲージンサイエティ) ・ハワイアンダンス(北日本新聞カルチャー) ・みんなで極楽拳を!(富山市民シアタライフ講座八人町気功教室) ・富山県民謡(富山市民国際交流協会) ・we are the world-民族衣装ファッションショー(富山外国語専門学校) ・外国のお菓子交流会ブラジル(要予約) ・お化け屋敷(富山外国語専門学校)

10/12(日)

・交流チャット(コンゴ民主共和国・フランス) ・箏コンサート-日本のうたと情景-(長谷川千恵子とグループよも) ・交流チャット(サウジアラビア・ベトナム) ・みんなで歌おう! さあ輪になって! ・和紙アート(カンタベリークラブ) ・箏体験 ちょっと弾いてみませんか(長谷川千恵子とグループよも) ・茶道(富山市民国際交流協会) ・民族衣装&和服試着 ・パネル展示(JICA北陸)(富山ユネスコ協会)(富山外国語専門学校)(ポスターの街・とやま) ・高校生留学生による体験談(言語交流研究所ヒップファミリークラブ) ・ワーキングホリデー説明会(財日本ワーキング・ホリデー協会)(要予約) ・小中学生のための国際交流(日本語教師会ゆうゆう) ・ワークショップストリートチルドレン「児童労働」をテーマに授業をつくってみよう(とやま国際理解教育研究会) ・自然野生生物映像祭作品上映会(地域映像ネットワーク) ・活動紹介ビデオ上映会(国連婦人開発基金ユニフォーム富山委員会設立準備連絡会) ・イングリッシュスピーチコンテスト「Future's Voice」(Unified Families Friendship Association) ・とやま外国人による日本語弁論大会(富山県青船会) ・外国人カラオケ大会 ・バンド演奏(720D affy) ・ブラジル音楽(メロディンブラジル) ・バンド演奏(みゃあらくモンスターズ) ・アンデス民謡(ウエイノ) ・合唱(富山市民国際交流協会ハングル講座) ・合唱(富山市民国際交流協会中国語講座) ・World Song(世界の歌) Unified Families Friendship Association ・日本唱歌・フォーク(富山Whyランゲージンサイエティ) ・カザフ民謡舞踊カラジョルハー(アライ・ラズダン) ・TCFLクイズ大会(富山外国語専門学校) ・日本のお菓子交流会(要予約) ・外国のお菓子交流会スロバキア(要予約) ・お化け屋敷(富山外国語専門学校) ・閉会式

エジプト



スピーカー アブドゥル・ファッター・ガベル氏
 (富山大学工学部外国人研究者・日本学術振興会外国人招へい研究者)
 〈主な話題〉・古代エジプト王族の家系
 ・古代建造物観光のポイント

カナダ



スピーカー ミッシェル・ワードマン氏 (英語指導助手-ALT)
 〈主な話題〉・カナダ建国の歴史から、州・政治・経済・産業・観光等

コンゴ民主共和国



スピーカー フレデリック・ワンツィオ・ビディ氏
 (富山医薬大研究生の妻の随行)
 〈主な話題〉・コンゴの歴史・産業・生活
 ・日本国の政府開発援助 ODA

フランス



スピーカー マカール・フランソワ・グザビエ氏
 (富山国際大学学生)
 〈主な話題〉・自分の生まれ育ったフランス
 ・フランスの観光等

サウジアラビア



スピーカー アリー・アルアキール氏 (富山医薬大研究生)
 〈主な話題〉・日本人にとって、なかなか理解し難いイスラムの文化

ベトナム



スピーカー ゲン・タン・ダン氏 (富山大学学生)
 〈主な話題〉・ベトナムの歴史・産業
 ・農村の生活等

この国際交流チャットは、富山在住の6ヶ国の外国人の皆さんに、自由に自国について話をしていただき、参加者からの質問など、自由な対話を進めながら交流を楽しみ、理解の幅をひろげようと開催しました。(今年は2回目です)

開催までの準備などいろいろ…

- ①出来るだけ多くの参加者に満足してもらいたい。原則として日本語を使用することにしたらよいのでは…。日本語に限定するとゲスト国が限られてくる。通訳者の同席にはその数は限られる。
- ②ゲストスピーカーと打ち合せをし、写真や本、絵はがき等、何かビジュアルなものを資料として依頼する。
- ③スタッフ達は常に横からサポートする。
 - ・インターネットから当該国に関する日本語による最新の情報資料を取得、〔国のあらまし〕として資料配布の準備をしておきました。
 - ・各国大使館の観光局等に依頼し、美しいグラビア刷りのパンフレットやポスター絵はがき等を多数取り寄せ、配布出来るよう手配しました。
 - ・語らいの場を、出来るだけ楽しい雰囲気にするように、話題があまり偏らないように配慮しました。
- ④ボランティアの確保の問題
 名前を連ねるだけではなく、企画段階から参画し、協同して実行に携わって頂けるボランティアを必要としているのですが…。

本当の意味での国際交流を…

各ブースには、常時15～20人位の市民が参加して(時にはゲストスピーカーが持参して来たりした)お茶を飲み、クッキー等を摘まみながら、何でも自由に話し合い、楽しく、又、有意義な親しみやすく解りやすい市民国際交流が出来たように思います。

日本伝統文化の紹介



「茶 道」

11月 9 日
知事公舎

「京都でしか飲めないと思っていた日本のお茶が、富山で飲めるとは…。」先日、知事公舎で行われた茶道体験での或る外国の方の言葉です。

今年も文化交流事業の一つとして外国の方々に茶道の体験をしていただく会を開きました。まず最初に「にじり口」からお茶室への出入り、つづいて大広間で「お茶の点て方」、「飲み方」を体験していただきました。

身体の大い外国の人にとって低く、狭い「にじり口」の出入りはとても窮屈そうでした。馴れない手つきでお茶を点て、それを飲んだ人が思わず「アッ！オイシイ」と声を出した時、点てた人がとても嬉しそうで満足気な顔をしてもらったのが印象的でした。

これからいろいろな機会に日本の良き伝統文化を体験していただきたいと思います。

お世話をした私たちにとっても楽しい一日となりました。
(講師(会員) 亀田 文子)

水引き工芸教室



「アクセサリー 作りを楽しむ」

講師
北野 洋子氏
(中秀流)

10月 26 日
当センター

中国、ロシア、アルゼンチンなど留学生や富山在住の外国の人たちが参加し、日本古来の伝統工芸にふれました。まず、自分の好みの水引きを選んで、今回は「かたつむり」作りに取り組みました。はじめは水引きの編み方に苦労していましたが、慣れて来ると賑やかに、楽しみながら約1時間半ほどで作品を作り上げました。

みんなは、「かたつむり」をアクセサリーとして胸につけたり、それぞれの出来ばえに満足し、異文化交流を楽しみました。

スポーツ交流会



「卓球大会」

10月 5 日
富山市総合体育館

富山在住の中国、ブラジル、モンゴルなど外国の人たちと会員らは、卓球を楽しみ、汗をかきながら熱戦を繰り広げました。試合はまず1チーム4人で団体戦を行い、続いて全勝者による個人戦が行なわれました。選手も応援団も熱く燃えて、そして、さわやかにスポーツで交流しました。

文化交流委員会

年忘れファミリーパーティー



12月14日
当センター

当協会が移転して初めてのパーティーでしたが、中国、タイ、フィリピン、インド、フランス、サウジアラビアなど(47名)富山在住の外国の人たちで会場はいっぱいになりました。

エビフライやおにぎりなどのお弁当を食べて、お菓子やケーキも食べて、お腹いっぱいになって、おしゃべりやゲームも楽しみました。イス取りゲームでは、大勢でぶつかったりしながら汗びしょりになりました。

また、今後の活動計画の参考にするためのアンケートに協力してもらいました。

ホームビジット アッという間の 你好！謝謝！再見！



12月13日
轡田民子さん宅

今日は、富山大学工学部大学院受験のために日本語を勉強中の秦 小琳(中国)さんをわが家に迎えました。来富して1ヶ月あまり程と聞いて、言葉の心配をしていましたが、幸い近くに住む彭イエンキンちゃん(西田地方小学校6年)を誘って通訳をしてもらったので助かりました。

お昼は、家族と一緒に寿司、おでん、味噌汁など日本料理に焼肉も好きだといひながら「もう満腹になりました！」と…。オセロで遊んだり楽しい一日はアッと言う間に過ぎました。

とても感じの良い青年で気楽に付き合うことが出来ました。ただ、残念だったのは、私の家族が仕事や学校などの都合でみんな揃って会うことが出来なかったことです。

秦さんには、日本語を早く覚え、勉学に励んでほしいと念じております。
(会員 轡田 民子)

料理交流会「世界のおやつ」



講師
台湾 妙玲氏
(中華肉まん、お粥)
中国 林艶氏
(開口笑)
亀谷奈緒美氏
(さつまいもの茶巾しぼり)

10月31日
エルフ富山

寒い季節にぴったりのおやつをつくりながら、食べながら交流しました。口を開けたドーナツや大きくふくれて蒸しあがった肉まんにビックリ!!それからさつまいもの茶巾しぼりなどお腹いっぱい食べてとても楽しい日でした。

ボランティア委員会

多国言語文化交流クラス

エジプト&アラビア語

講師 A-Fattah GABER氏
(富山大学工学部外国人研究者)
(日本学術振興会外国人招へい研究者)

「古代エジプトから現代エジプトの文化やエジプトのいろいろを富山のみなさんにお話をできること、知ってもらえる事がうれしく感謝します」と。普段はチョット茶目気があって、やさしいガベルさんですが、エジプト・アシュウト大理学部物理学教授で世界各国から招へいを受ける研究者GABERさんの分り易く、順序よく、そして力強い講義に参加者たちは緊張さえました。

ちょっとアラビア語

English	Arabic	How to read	English	Arabic	How to read
Good morning	صباح الخير	Sabah-El khair	I don't know	لا أعرف	La - A'raf
Good afternoon	المساء الخير	Assalamo Alaikum	I don't understand	لا أفهم	La - Afham
Good evening	المساء الخير		Congratulations	تهنئة	Tahaggetee
Good night	لايل الخير		Numbers		
How do you do?	كيف حالك؟	Kaifa Halek?	1	واحد	Wahed
I see, Thank you	أشكر	Khawayyee - Shukra	2	اثنان	Itan
Thank you	شكرا	Shukra	3	ثلاثة	Thalathah
You are welcome	أمرئيك	Khalan Bek	4	اربعة	Arba'ah
Please	من فضلك	Tafaddal	5	خمسة	Khamseh
How are you?	كيف حالك؟	Kaifa Halek?	6	ستة	Sattah
I am fine, thank	أنا بخير	Khawayyee - Shukra	7	سبعة	Sab'ah
Yes	نعم	Nam	8	ثمانية	Thamane'iah
No	لا	La	9	تسعة	Tesa'ah
Excuse me	عذرتي	La - Samahit	Others		
Bye	وداعاً	Salam	How much?	كم؟	El - Kam?
Hello	مرحباً	Assalamo Alaikum	Where is the Bank?	أين البنك؟	Ayna El-Bank?
Good bye	وداعاً	Ma EL-Salam	Where is the Post Office?	أين البريد؟	Ayna El-Barid?
What's your Name?	ما اسمك؟	Ma Esma?	Tip	نصيحة	Baksheteh
My name is	اسمي	Esmit			
I'm Japanese	أنا ياباني	Ana Yapani			



12月6日
当センター

アルゼンチン&スペイン語

講師 玉栄 グスターボ アレハンドロ氏
(ブエノスアイレス市・国際大学研修員)

アルゼンチンのARGENTINAは、ラテン語のARGENTUM（銀）から転化した名称といわれ、その昔、銀を求めてたくさんのヨーロッパの探検家や征服者たちは、ラ・プラタ（銀）川をさかのぼったといわれています。

国土は日本の約7.5倍で、南北3,800km、東京のほぼ対称地にあたり、パタゴニア地方は、人よりも動物が多い地域で世界に残された数少ない大自然を実感できる地であり、講師のグスターボさんも、この地が大好きでよく訪れるそうです。

スペイン語の話者は、約3億5千万人で中国語、英語に次いで世界で3番目、あるいはヒンディー語に次いで4番目に使用人口の多い言語であるといわれています。特徴としては、きわめて規則性の高い言語であることと、年代差と地域差が少ないことがあげられます。



11月1日
当センター

インド&タミール語

講師 タミザベル氏
(富山大学研究生)

インドは、インダス文明に始まる4000年の歴史の中で、さまざまな自然・風土を見せながら多種多様な民族・言語・文化などにおいても多くの顔を持っています。日本の約9倍の広大な国土に人口は10倍（2001年の人口調査では、1,027,015,247人）で、世界最大の民主国家です。宗教は、約80%の人はヒンズー教でほかにイスラム教徒、仏教徒、キリスト教徒です。豊かな地下資源を持ち、多数の優秀な頭脳が最先端電子情報産業（ソフトウェア）を支えています。

インドには、28の州のほとんどに自身の言語があり、公用語は18もあります。

タミール語は、インド南部タミルナドの公用語で移民とともに伝播し、シンガポール・マレーシア・インドネシア・スリランカ・フィジー・アフリカなどでも使われている言語です。現在は、タミルナド州の学校では英語が使用されています。

また、言語学者 大野晋氏による「タミール語が日本語のルーツではないか」という大きな仮説は、今のところ仮説の域を出ないが興味深く、参加者たちはいろいろな質問など、浅からぬ日本との接点にタミール語への関心が高まりました。

「日本語の起源」（岩波新書）・「日本語の形成」（岩波書店）



10月4日
当センター

英語スピーチと討論の会（ESD）

10月特別例会

テーマ 「英語の成り立ちと英国事情」
スピーカー レベッカ・フーパー氏（英国 英語講師）

ユニークなキャリアを持つ、レベッカさんと英語並びに英国に関わる様々な話題で自由に話し合いました。

まず、同じ英語と言っても各地域によってイントネーションや発音に特徴があるのは、その地域の歴史的な経緯等と深い関係がある。

かつて日本には武士道があって、イギリスにも騎士道があったように、そして、日本に茶道があるように、イギリスにも紅茶道がある。（紅茶はイギリス人の日常生活とは切り外せないもののです）

その昔、日本と同じく島国である英国は、7つの海を支配し、世界に君臨した。日本は、260年にわたり孤立鎖国政策を頑なに堅持してきた。大きな違いは…？

英国は、EUの通貨統合に参加してないが、ヨーロッパの潮流に反していて政治的、経済的に不利益はないのか、これからはどうなるのか？

このほかにも、自由な語らいの中に意外な発見が沢山あって相互理解のために大変有意義でした。

これらの講話・座談・討論などすべて英語で行なわれました。



10月21日
当センター

国際教養委員会

お知らせひろば

お申し込み・お問合せは当協会まで
TEL 076(444)0642 FAX 076(444)0643

行 事	日 時	と ころ	担当委員会	会 費
新春国際交流のつどい 2004	1月10日(土) 14:00~16:00	CiCビル5F	合同	外国人無料 日本人1,000円
英語スピーチと討論の会 「米国に進出した日系企業の苦労話」 講師 中川 修一氏(北陸銀行副部長、前ニューヨーク駐在員事務所長)	1月27日(火) 18:30~20:00	当センター	国際教養	無料
折り紙教室	2月1日(日) 13:30~15:30	当センター	文化交流	無料
多国言語文化交流クラス(セルビア語)	2月7日(土) 13:30~15:00	当センター	国際教養	200円
オーストラリア海外研修旅行	2月7日(土)~2月11日(木)	—	姉妹都市	約20万円
もっと知ろう世界の街(インド)	未定	当センター	文化交流	無料
国際交流TCAカレッジ講演会	未定	当センター	総務企画	無料



移転しました。

気軽にお立寄り
下さい。

☆新住所

〒930-0002

富山市新富町一丁目2-3 CiCビル3F

富山市国際交流センター内

☆TEL (076) 444-0642

☆FAX (076) 444-0643

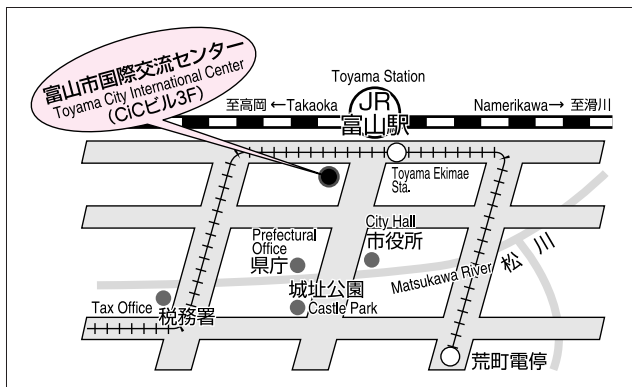
☆ホームページ <http://www.tca-toyama.jp>

☆E-mail info@tca-toyama.jp

☆開館時間 10:00~21:00

☆休館日 毎月第3火曜日

但し3月・12月は無休、2月第3火・水曜日、元旦



富山市国際交流センター会議室 ご利用について

国際交流活動のために、会議室の貸出し業務を行っています。

国際交流に関する活動団体で、金銭授受のない非営利目的の活動にご利用いただけます。

- ・会議室1 定員45名 77.29㎡
(会議室2と一体利用可能です)
- ・会議室2 定員27名 58.14㎡
- ・会議室3 定員24名 37.19㎡
- ・会議室4 定員24名 37.19㎡
(カーテンウォールにより細分割可能です)

《ご利用時間》午前10時~午後9時

《お申し込み方法》

- ・ご利用は、予約制となります。
- ・ご予約は、原則3ヵ月前から受付いたします。
- ・国際交流センターにご利用申込書がありますので、詳しくは係員までお問い合わせ下さい。

《利用上の注意》

- ・机、椅子、備品は、もとに戻して下さい。
- ・掃除、ゴミの始末をして下さい。
- ・禁煙です。
- ・飲食は事務室へ届け、許可をもらって下さい。
- ・使用後は施錠し、鍵は事務室へ返して下さい。



編集後記

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

富山市民国際交流協会は、富山駅前CiCビル3階の富山市国際交流センターに移転し、新しい環境で、新たな年を迎えました。

昨年は、10月から「国際交流フェスティバル2003」開催、引越し、そして、新しいセンターでのオープニングイベント「国際文化祭」と大きな行事が続いて大忙しの毎日でした。これらの行事は、大勢の外国の人たちと会員たちが協力して進めることが出来ました。多くの人たちと出会いがあり、一緒に楽しみ、交流をひろげ、親善が深められました。

今、富山には、59ヶ国、3,720人(富山県65ヶ国、10,833人)…H14.12.31現在の外国の人たちが在住しています。それぞれの自国の文化を持ちながら富山で生活しています。「富山市民」それは、外国人住民も含んだ総称でありたい。そして、お互いの文化を解り合い、認め合う多文化共生の社会に…。

富山市民国際交流協会は、これからもたくさんの会員や外国の人たちが集い、そして、楽しく学んだり交流したりしながら、さらなる発展のための工夫と活動を協力し合って進めていきたいですね。

広報委員長 岡田昌代